

内科 II に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] Cushing 症候群における筋肉量の変化およびそれに関わる因子の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 亀田 啓 内科 II・助教

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

九州大学大学院医学研究院病態制御内科 教授 小川 佳宏

[共同研究機関名・研究責任者名]

九州大学大学院医学研究院病態制御内科 教授 小川 佳宏

[研究の目的]

Cushing 症候群における筋肉量の変化およびそれに関わる因子を解明することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2007 年 1 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までに Cushing 病、副腎性 Cushing 症候群、Subclinical Cushing 症候群と診断された患者さんを対象とさせていただきます。

○利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、握力、下肢筋力、血液検査結果（血小板数、AST、ALT、 γ GTP、空腹時血糖、HbA1c、尿酸、総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、BUN、Cr、eGFR、フェリチン、IV型コラーゲン 7S、total P1NP、TRACP-5b、ACTH、コルチゾール、DHEAS、レニン活性、アルドステロン、アドレナリン、ノルアドレナリン、ドパミン、メタネフリン、ノルメタネフリン）、レプチン、デキサメサゾン抑制試験（0.5、1、8mg）結果、CRH 負荷試験結果、DDAVP 負荷試験結果、75g 糖負荷試験結果、尿検査結果（尿中アルブミン/Cr、尿蛋白/Cr、尿電解質、尿中コルチゾール、尿中アルドステロン、尿中アドレナリン・ノルアドレナリン、ドパミン、尿中メタネフリン・ノルメタネフリン）、体組成、デュアルスキャン、頸動脈超音波検査、PWV、ABI、腹部超音波検査、腹部

CT、MRI、ポリソムノグラフィー、骨塩定量の結果

この研究は、当院ならびに九州大学病院で実施します。上記のカルテ情報は、筋肉量の変化ならびにその関連因子の解析のために郵送で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2024年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院内科II 担当医師 亀田 啓

電話 011-706-5915 FAX 011-706-7710